

令和八年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

注意事項

- 一 時間は六十分です。
- 二 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入してください。
- 三 解答紙には、必ず受験番号を記入してください。

【一】 次の文を読んで、後の問いに答えてください。

空海の遺品は現在多くが知られるが、その表情にはさまざまなものがあり、一人の人物が書いたものとは思えないほどである。わが国の能書の代表者として伝説も多く、優れた作品が空海筆とされたこともあつたらうが、実際に多様な筆跡を書き分けることができる人物であつたと思われる。個人的には普段着の飾らない様子をみせる「灌頂歴名」が好みであるが、もつとも著名な作品は、書としての完成度も高いと評される「風信帖」である。これは、その書き出しの「風信雲書……」から名づけられた手紙の遺品で、一緒に入唐した最澄に宛てた手紙である。書聖といわれる【A】の書法をべーすに、留学中に触れたと思われる【B】の書法を加味していると思われるが、内容から判断して空海の四十歳前後の筆跡とされる。最澄から送られた『摩訶止観』^{まかしかん}とその手紙についての礼状で、ほかの二通の手紙とともに一卷にまとめられている。一方、最澄から空海に宛てた手紙も現存している。こちらは、やはり書き出しの文字【C】「清音……」から【C】帖と呼ばれる。内容から空海宛てだが、表向きは最澄の弟子で、空海のところへ修行中の泰範宛てとなっている。じつはこの頃、互いの密教の考え方に違いが生まれ、最澄と空海の交友関係が破綻を迎える時だったのである。泰範も最終的には最澄と決別して空海の弟子となった。

最澄の手紙の筆致は、空海とは異なる表情であるが、空海同様に【A】書法の影響を受けている。堅実な丁寧な書き方は、相手を敬つてのことであろう。勝手に想像すると、「風信帖」の時代はまだ関係の親しみを感じさせ、微妙な緊張関係になつた頃の最澄の手紙がよそよそしく見えるということはないだろうか。実際にはそれぞれが優れた筆致の作品に変わりはないのだが、まわりの状況を知ると、そうした違った見え方がしてくるものである。

※出典…「書の見方―日本の美と心を読む」名児耶明著 角川選書 角川学芸出版 六六ページ〜六七ページ
※出題の都合上、文章を一部改変しています。

(問) 文中の【A】、【B】、【C】に入る語を漢字で書いてください。また、サイドラインについて、空海が「風信帖」を書く上で【A】の書法をベースにした理由について、あなたの考えを四〇〇字以内で答えてください。

〔二〕 漢字の五書体、及び平仮名・片仮名について、それぞれの成り立ちを四〇〇字以内で説明してください。